

和歌山工業高等専門学校	開講年度	令和05年度 (2023年度)	授業科目	設計製図Ⅱ	
科目基礎情報					
科目番号	0064	科目区分	専門 / 必修		
授業形態	授業	単位の種別と単位数	学修単位: 2		
開設学科	環境都市工学科	対象学年	4		
開設期	前期	週時間数	2		
教科書/教材	(1)【教科書】新田保次 監修 / 松村暢彦 編著「図説わかる土木計画」(学芸出版社)				
担当教員	伊勢 昇				
到達目標					
(1)与えられた条件に基づいて、所定の期日までに調査研究報告書並びにプレゼンテーション資料を完成・提出できる。 (2)完成度、有用度、信頼度の3つの評価視点において、レベルの高い調査研究報告書を作成することができる。 (3)発表時間、プレゼンテーション、ppt、質疑の対応の4つの評価視点に置いて、レベルの高いプレゼンテーション資料の作成並びに発表ができる。 本講義は、土木系公務員や都市・交通計画系コンサルタントの計画業務(問題の提起、実態の把握、問題の明確化、目標の設定、代替案の作成・評価、計画の決定・実施、計画のモニタリング)の遂行に関連する。					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
調査研究報告書	完成度、有用度、信頼度の3つの評価視点において、レベルの高い調査研究報告書を作成することができる。	与えられた条件に基づいて、所定の期日までに調査研究報告書並びにプレゼンテーション資料を完成・提出できる。	与えられた条件に基づいて、所定の期日までに調査研究報告書並びにプレゼンテーション資料を完成・提出できない。		
プレゼンテーション	発表時間、プレゼンテーション、ppt、質疑の対応の4つの評価視点に置いて、レベルの高いプレゼンテーション資料の作成並びに発表ができる。	与えられた条件に基づいて、所定の期日までに調査研究報告書並びにプレゼンテーション資料を完成・提出できる。	与えられた条件に基づいて、所定の期日までに調査研究報告書並びにプレゼンテーション資料を完成・提出できない。		
学科の到達目標項目との関係					
C-1 JABEE C-1					
教育方法等					
概要	地域まちづくりのデザイン提案を通じて、地域の課題の発見とその解決のための方法を学ぶ。				
授業の進め方・方法	演習を中心に行う。調査研究報告書の作成及びプレゼンテーションを行う。				
注意点	COC 【事前学習】 次回の講義までに必要な資料の収集・整理を行うこと 【事後学習】 講義の受講の結果を勘案し、資料の修正・整理を行うこと。				
授業の属性・履修上の区分					
<input checked="" type="checkbox"/> アクティブラーニング <input type="checkbox"/> ICT 利用 <input type="checkbox"/> 遠隔授業対応 <input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業					
授業計画					
	週	授業内容	週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	土木計画学概説、研究課題の設定	土木計画学について説明できる	
		2週	調査研究のフレームワーク設定、担当業務の割り当て		
		3週	グループディスカッション	様々な資料を収集・整理し、説明ができる。	
		4週	グループディスカッション	様々な資料を収集・整理し、説明ができる。	
		5週	グループディスカッション	様々な資料を収集・整理し、説明ができる。	
		6週	グループディスカッション	様々な資料を収集・整理し、説明ができる。	
		7週	グループディスカッション	様々な資料を収集・整理し、説明ができる。	
		8週	グループディスカッション	様々な資料を収集・整理し、説明ができる。	
	2ndQ	9週	グループディスカッション、調査研究報告書の作成	様々な資料を収集・整理し、説明ができる。また、調査研究報告書を作成できる。	
		10週	グループディスカッション、調査研究報告書の作成	様々な資料を収集・整理し、説明ができる。また、調査研究報告書を作成できる。	
		11週	調査研究報告書の作成、プレゼンテーション資料の作成	調査研究報告書及びプレゼンテーション資料を作成できる。	
		12週	調査研究報告書の作成、プレゼンテーション資料の作成	調査研究報告書及びプレゼンテーション資料を作成できる。	
		13週	調査研究報告書の作成、プレゼンテーション資料の作成	調査研究報告書及びプレゼンテーション資料を作成できる。	
		14週	調査研究報告書の提出、調査研究成果の発表(1)	グループの研究活動成果を分かりやすく発表できる。	
		15週	調査研究成果の発表(2)	グループの研究活動成果を分かりやすく発表できる。	
		16週	中間試験期間		
モデルコアカリキュラムの学習内容及到達目標					
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
評価割合					
		報告書	プレゼンテーション	合計	
総合評価割合		80	20	100	
まちづくりデザインの提案		80	20	100	